

5館共同制作

New traditional dance play

Super Theater
小池博史ブリッジ
プロジェクト

script written and
directed by
HIROSHI KOIKE

「マハーバーラタ」より

新
伝
統
舞
踊
劇

神々と人間が入り乱れ、
時空を超えて展開する壮大な物語
「マハーバーラタ」!
多種多様な舞踊、芸能で魅せる
新たな舞台がここに!!
演劇×伝統舞踊×ダンス×生演奏!!??
あらゆる舞台芸術を調和し超えていく
大人も子供も身体感覚全てで楽しめる
演出家・小池博史によるスーパーシアター!!

MAHABHARATA Chapter 2/5

今
が
こ
の
世
の
境
界
線

TIME
2018年
9月9日(日) 14:00開演(13:45開場)

※終演後アフタートーク予定

PLACE
茅野市民館マルチホール

長野県茅野市塚原一丁目1番1号
<http://www.chinoshiminkan.jp/>

料金(全席自由)
一般:3,000円
ハート割引:1,500円 ※障がい者・養育手帳をお持ちの方、付添1名無料
高校生以下無料 ※無料チケットが必要です

チケット取り扱い:
●茅野市民館
プレイガイド:
●茅野市:シマダヤ楽器店 ●富士見町:今井書店ふじみ店
●岡谷市:平安堂諏訪店 ●岡谷市:笠原書店岡谷本店
●松本市:松本井上プレイガイド
インターネット取扱い:
●EVENT-NAGANO
<https://www.event-nagano.net/>

【茅野市民館友の会】
会員:2,500円
0266-82-8230
(NPO法人サポートC)
受付13:00~19:00 火曜休

お問合せ:
茅野市民館
指定管理者 株式会社地域文化創造
0266-82-8222
長野県茅野市塚原一丁目1番1号
火曜休館 受付9:00~20:00

小池さんは
一種のスーパー・シアターの手法を用い、
強烈な情感と優雅なスピーディーな
振り付けによって、
難解さを超越した「マハーバーラタ」の
真髓を直に観客に伝えました。
……きつと今後三十年、
ひよつとしたらそれよりも過か先まで
この「マハーバーラタ」を超える作品は
生まれないうちも知れません。
そういう意味でも、
この芝居は大変な傑作だと思います。
アレックス・カー
東洋文化研究家・著者

演出・脚本・振付・構成
小池博史
出演・陣付:
小谷野哲郎
根岸祥
川崎香多
谷口昇
上原悠太郎
吉澤慎吾
YASUHIKA
福島祥
ムーン・イン・シン

今がここの世の境界線

マハーバーラタとは

世界三天叙事詩のひとつ「マハーバーラタ」は古代インドの聖典でその長さは聖書の4倍と言われています。その影響は広く、アジア各地の宗教・思想・文化・哲学・倫理・政治・法律などあらゆる方面の根本経典として尊崇されています。時を超え、国を超え、宗教を超え語り継がれてきた神話的世界の物語。そうでありながら、現代に通じる哲学とバカバカしい人間模様が次々と出て来る、一大エンターテインメントでもあります。現代を生きるすべての人へ人間のあり方をもう一度問いかける物語です。

【あらすじ】この物語は「バラタ族」という偉大な(マハー)天家族の中で、「クルの血を引く者」と「パンドウの血を引く者」とが富や権力を求め対立を深めていくお話です。その溝は徐々に深まり、欲望・嫉妬・怒り・怨み・悲しみなどからやがて大戦争を引き起こしていきま



◆演出・脚本・振付・構成: 小池博史

◆出演・振付:

小谷野哲郎(バリ舞踊)
張春祥(京劇)
川崎香多(琉球舞踊)
谷口界(アクロバット)
土屋悠太郎(タイ古典舞踊)
吉澤慎吾(ジェネラル・パフォーマー)
YASUCHIKA
福島梓
ムーンムーン・シン(インド古典舞踊)

◆演奏:

下町兄弟(ジャンベ・パーカッション)
大城貴幸(琉球音楽)

原作: マハーバーラタ
演出・脚本・振付・構成: 小池博史
作曲: チャンドラン・ベヤツマル(インド)
藤井健介、下町兄弟、大城貴幸
舞台美術: フィロス・カーン(インド)
仮面: イ・ワヤン・タンゲー(インドネシア)
イ・マデ・スティアルカ(インドネシア)
衣装: マンダキニ・ゴスワミ(インド)
舞台美術助手: ソーラブ・ポッター(インド)

衣装アシスタント: 岡田三千代
舞台監督: 吉田誠(箱馬研究所)、中原和樹
照明: 富山貴之
音響: 印南昭太郎
演出助手: 根本和歌葉
音楽プラン: 小池博史
宣伝美術: 梅村昇史
制作協力: 株式会社サイ

Super Theater 小池博史ブリッジプロジェクト

五感すべてで感じるシアター。世界各国で作品制作を行い、舞台芸術の第一線で30年以上活動を続けてきた小池博史によって命名された。バレエ・演劇・モダンダンス・サーカス・伝統舞踊等あらゆるバックグラウンドを持つパフォーマーや音楽家がフィールドを超えて舞台の上で調和することで、既存の舞台芸術の枠を飛び越えた作品作りを行う。

小池博史 profile

演出家・作家・振付家、「舞台芸術の学校」代表
茨城県日立市生まれ。一橋大学卒業。1982年パフォーミング・グループ「ババ・タラマラ」設立。以降、全55作品の作・演出・振付を手掛ける。2012年5月解散。その後「小池博史ブリッジプロジェクト」を立ち上げ、世界各地で12作品を制作。演劇・舞踊・美術・音楽等のジャンルを超えた作品群を40ヶ国で上演。97~04年つくば舞台芸術監督、アジア舞台芸術家フォーラム委員長、国際交流基金特定寄附金審議委員等さまざまな審議員、審査員等を歴任。
著書として「ロンググッドバイ〜ババ・タラマラとその時代」(2011年、青幻舎刊)、「からがら〜まをさく」(2013年、新潮社刊)、「新・舞台芸術論-21世紀風姿花伝」(2017年12月、水声社刊)。毎月1冊、メーガジン「ガジン」を発行中。



小池博史の本

- 「新・舞台芸術論-21世紀風姿花伝」(水声社刊) 定価2,500円(税別)
- 「小池博史作品集『夜と言葉と世界の果てへの旅』」(水声社刊) 定価2,800円(税別)

TIME
2018年
9月9日(日) 14:00開演 (13:45開場)

※終演後アフタートーク予定
上演予定時間は約90分です(休憩なし)。

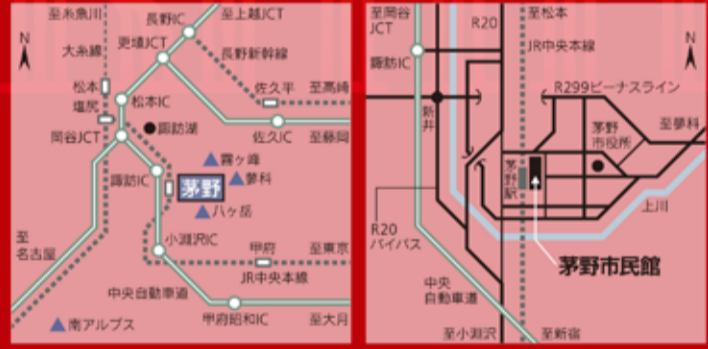
PLACE
茅野市民館マルチホール

お問合せ
茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
長野県茅野市塚原一丁目1番1号
0266-82-8222 火曜休館 開館9:00~22:00
<http://www.chinoshiminkan.jp/>

主催: 茅野市民館指定管理者 株式会社地域文化創造
連携: 流山市おおたかの森センター指定管理者
アクティオ株式会社連合体
公益財団法人多摩市文化振興財団
公益財団法人金沢芸術創造財団
公益財団法人仙台市市民文化事業団

助成: 一般財団法人地域創造

後援: 茅野市、茅野市教育委員会、
岡谷市教育委員会、諏訪市教育委員会、
下諏訪町教育委員会、富士見町教育委員会、
原村教育委員会、信濃毎日新聞社、長野日報社、
市民新聞グループ(7紙)、月刊ふらざ、FM長野、
LCV、茅野商工会議所、諏訪地方観光連盟、
(一社)ハッポウツーリズムマネジメント、JR東日本
長野支社、信州諏訪農業協同組合、
読書の森 読りむんちの、EVENT-NAGANO



〈アクセス〉
電車: JR中央本線・茅野駅下車、東口直結
車: 中央自動車道・諏訪ICより車で約12分

この公演は千葉県流山市、東京都多摩市、石川県金沢市、長野県茅野市、宮城県仙台市の文化・公共施設5館による連携事業です。5館が一丸となり3ヵ月に渡る国内ツアーを制作していきます。また、本公演に先立ち各地の市民を対象としたワークショップを開催いたします。

流山市文化会館
小林一茶の旅路を支え、妻田春華若き才能の育成に尽力した流山は、みりんなど、醸造家を中心になって文化を応援する気風があったと言われています。流山市文化会館では、築50年の古い建物ですが、10年前から小池博史さんの公演を続け、高校演劇部によるバリアフリー公演や子育てコンサートなど文化と福祉の融合企画も盛んです。また、流山市生涯学習センターやおおたかの森センターでも、小池博史さんのワークショップや企画展などを開催しています。
<https://gensai2018-nagareyama.jmdofree.com/>



バルテノン多摩
1987年に開館したバルテノン多摩は、80段の大階段、8本柱のパーゴラなど特徴的な外観を誇る複合文化施設です。多目的に利用できる大・小ホールをはじめ、展示室、会議室、練習室など幅広い文化活動を可能とする施設を備えています。文化活動の振興や郷土の文化・自然環境に関する史料の収集や保存・公開、市民が参加体験する文化芸術事業の推進などに取り組んでいくとともに、地域の結びつきを強め、次世代へと継承していくことを目指しています。
<http://www.parthenon.or.jp/>



金沢市民芸術村
約10ヘクタールに及ぶ緑あふれる広大な敷地には、かつて紡績工場がありました。金沢市民芸術村は、吹き抜けの高い天井や赤レンガの壁面など旧大和紡績倉庫群の魅力を活かして改修し、市民が演劇や音楽、美術などの芸術活動を行う施設として、平成8年(1996年)に誕生しました。以来、年間およそ20万人が利用する、地域の文化発信・交流拠点となっています。
<http://www.kanazawa-arts.or.jp/>



茅野市民館
諏訪湖を囲む盆地に位置するハッポウ山麓の高原都市、長野県茅野市にある茅野市民館、茅野市美術館を併設し、劇場・音楽ホール、市民ギャラリー、図書室などを有する文化複合施設です。「市民一人ひとりが主人公になれる場」の理念のもと、建設計画から市民が直接参加してつくり、地域の交流拠点として2005年に誕生しました。JR茅野駅に直結し、国宝土偶「縄文のビーナス」「仮面の女神」といった縄文遺物や遺跡、歴史ある諏訪大社を訪れる玄関口にあたります。
<http://www.chinoshiminkan.jp/>



日立システムズホール仙台
時代を代表する文化人・伊達政宗公がその発展の礎を築き、市の木ケヤキをはじめ、緑溢れる杜の都・仙台。日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)は、繊細で豊かな響きを堪能できるコンサートホール、ステージとの一体感が得られるシアターホール、誰もが自由に利用できるパフォーマーズ広場など、多様なニーズに対応した仙台市の文化拠点施設です。地下鉄南東北線旭ヶ丘駅に隣接し、眼下には台原森林公園が広がります。
<http://www.bunka.city.sendai.jp/>



TOUR
千葉/流山 流山市文化会館: 6/9(土) 終了
東京/多摩 バルテノン多摩: 6/16(土) 終了
石川/金沢 金沢市民芸術村(金沢芸術創造財団): 6/23(土)~24(日) 終了
長野/茅野 茅野市民館: 9/9(日)
宮城/仙台 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター): 9/16(日)

WORKSHOP
公演に先立ち、関連ワークショップ「からだ音楽で作品をつくらう!」を開催。
千葉/流山 流山市おおたかの森センター: 5/11(金)~13(日)
東京/多摩 バルテノン多摩: 5/18(金)~20(日)
石川/金沢 金沢市民芸術村(金沢芸術創造財団): 5/15(火)~17(木)
長野/茅野 茅野市民館: 6/27(水)~30(土)
宮城/仙台 日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター): 7/13(金)~15(日)

複数館ご観劇特典!
2館以上ご観劇をいただいた方へ、
粗品をプレゼントいたします。
各劇場の受付にて、別の劇場のチケット含む
2枚以上の半券をお見せください。